

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2017年1月号 通巻97号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2017

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

ジャコウネコはネコではありません どちらかというともングースに近い

ヨーロッパジェネット *Genetta genetta*



インドジャコウネコ

Viverra zibetha



ハクビシン *Paguma larvata*



マレージャコウネコ *Paradoxurus hermaphroditus*



全世界のタヌキスキの皆様、明けましておめでとうございます。東京タヌキ探検隊！を今年もよろしくお願いいたします。東京タヌキタイムズも今年はいよいよ100号に到達します。なのですが今年最初のテーマはタヌキではありません。

似て非なるもの

ハクビシンはジャコウネコ科に分類される動物です。と説明するとなぜかほとんど人は「ああ、ネコの仲間なんですね」と反応します。違います！全然違います！ ジャコウネコはネコではありません。

例えばアライグマはクマの仲間ではありません。アナグマもクマの仲間ではありません。ジャコウネコとネコもそれと同じ関係なのです。

ネコ科の動物はライオン、トラ、チーターなど非常に有名な面々がそろっているのに対し、ジャコウネコ科と聞いて動物名をすらすら言う事ができる人はまずいません。英語では「Civet=シベット」あるいは

「Genet=ジェネット」と呼ばれる種類です。海外でこの名前を聞いたことがある人もいるでしょう。

上のイラストはジャコウネコ科から4種を描いたものです。どうでしょう、ネコ科とは異質な形態であることがわかるでしょうか。ジャコウネコ科の外見の一般的な特徴は胴長短足、尾が長いということです。ネコもそれに近い体型ですが、ジャコウネコ科の方が極端と言えます。頭はネコとは明らかに違い、鼻がやや長めです。また、ジャコウネコ科は立ち止まる時に後足がかかとまで接地します(アライグマ科も同じ)。ネコは立ち止まる時にかかととは接地しません。食べるものはネコ科はほとんど動物性のものばかりであるのに対して、ジャコウネコ科は動物性、植物性どちらも食べる雑食です(種類によって偏りはあります)。

ジャコウネコ科は以前はマンゲース科といっしょにされていました。ですのでネコよりもマンゲースに近いグループだと言えます。

ジャコウ=麝香

「ジャコウ」とは「麝香」(ムスク)のことで、ジャコウジカの体内の分泌物から得られる香料です。ジャコウネコ科の一部ではおしり付近から分泌されており、そのため「ジャコウ」の名がついているのです。

インドネシアには「コピ・ルアク」というコーヒー豆があります。これはマレージャコウネコのフンの中に入っているコーヒー豆(種子)のことです。汚いようですが、独特の香りがあるとのこと(麝香とは関係ありません)。大量生産ができないために非常に高価なことでも有名です。

ジャコウネコとネコは違うということをぜひ覚えておいてください。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>